

先祖が拓いた農地 【土地改良の碑(十四山村)】



(海部郡十四山村大字竹田・十四山東公園内)



昭和二十四年九月二十六日の伊勢赤松風は、本村を一面のうちに荒れと化せしめた。深き水害に罹ること実に百日余、農民は悲嘆と苦悶のどん底に墜ちて、至つた。しからば水中の農業生活のなかで、この大震災を免じて、嗣となく、地改良事業の推進に踏み切つた農民の勇気と覚悟を賞する。

無数に散在するタリク、池沼を内水面干拓事業により整理して、土地の高麗用内水面干拓事業区に編入し、昭和二十七年に、国が新設地として計画した農業改良事業に、最初指定を受け、計画した農業改良事業に、最終指定を受け、大型農具を導入し、農業改良に開き、時代を先導し、近代化に成功し、碑を建立しての大事業を永遠に記念する。

昭和四十年十月 十四山村長 吉川 博
 十四土地改良区設立 昭和十五年十一月十四日
 受益農家数 五百九十七戸
 内水面干拓事業費 一億九千九百円
 区画整理事業費 二億九千九百円
 農業改良事業費 六千九百九十九円



事務局から

★4月1日より諸種の証明書について手数料が必要になります！

昭和62年11月26日の臨時総代会において、手数料徴収規程の一部改正について可決され4月1日より農地転用等に伴う証明書(意見書、受理証明書、地区除外証明書など)、並びに各種証明書の発行に伴い**1件につき500円**徴収することになりましたのでよろしくお願い致します。但し、公共の為必要とするものについては減免することができます。

★賦課金は納期限までに！

毎年**6月**に経常賦課金、**8月**に特別賦課金を徴収しておりますが、納期限までに納入されないと督促状を発付し督促料金が加算されますのでくれぐれもお忘れないうちにご注意下さい。

★公共事業による農地の買収について！

公共事業用地(道路、河川敷、学校用地、公民館、铁塔敷等)でも土地改良区へ地区除外の申請をして決済金を支払わなければ、賦課台帳から減歩することができな

い為、従来通り賦課されます。用地買収の時点にどちらが申請の手続きを行い、決済金を支払うかといったようなこと等を話かれて問題の残らないようお願い致します。

又、地目変更される場合も同様、地区除外の申請をして頂きませんと、台帳の処理ができませんのでご承知下さい。

★農地の移動には組合員資格得そう通知書の提出を！

1. 組合員が死亡した場合
 2. 組合員の耕地の喪失取得の場合(耕地の譲与、売買移動等)
 3. 農業者年金の受給による経営世帯主が交代した場合
- 以上のような移動がありましたら毎年**12月末日**までに届出をして下さい。農業委員会の承認、登記の設定が完了していても組合員資格得そう通知書を土地改良区へ提出しなければ従来どおり賦課金が課せられますので忘れずに届出をして下さい。

《人事異動のお知らせ》

異年月日	役職名	転入者		転出者	
		氏名	前任地	氏名	新任地
63. 10. 1	木曾川用水 総合管理所長	金子 正人	筑後川下流用水 建設所副所長	河嶋 幸夫	退職
63. 4. 1	海部農地開発 事務所長	竹沢 貞夫	名古屋農地開発 事務所長	古江 驥郎	農地林務部技監

海部土地改良区本報

表題 吉川 博

昭和64年1月1日発行 No.14
 発行所 海部土地改良区
 所在地 津島市西柳原町1-14
 電話 津島(0567)28-1965
 印刷 城北コピーセンター



内閣総理大臣・竹下登の名代として、【内閣総理大臣杯】を授与する吉川博農林水産政務次官(大相撲名古屋場所にて)



理事長 吉川 博

昭和64年の新春を迎えて

新しい年を迎えるにあたり、組合員の皆様をはじめ関係各位には、平素、海部土地改良区に対し、ご理解とご協力を賜り心から厚くお礼申し上げます。63年の配水につきましても、管理区長ならびに班長さん方のご努力によりまして、無事に終わり米の作柄も良好でありました。組合員共々配水のご苦労に感謝を申し上げ、心から敬意を表します。竹下内閣のもとで、農林水産政務次官を拝命致しまして1年余り困難な時局に対処し努力して参りました。これもひとえに、皆様方のご支援の賜ものと心からお礼申し上げます。

国際情勢の厳しい中で、特に農業問題については、前途多難であります。これまで得ました知識と経験を生かして山積する農業問題の解決に、全力を傾ける覚悟であります。今まで以上に、一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

組合員の皆様におかれましては、今後益々健康でご活躍されますようお祈り申し上げて、新年の挨拶と致します。

年頭にあたって

愛知県農地林務部長 白 浜 明

新春を迎え、ここに謹んで御挨拶を申し上げます。
 組合員の皆様方には、平素から土地改良事業の推進に格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
 また、理事長の吉川先生におかれましては、内外共に未だかつてない農政の厳しい時期に農林水産政務次官を努められるかたわら、私共の担当しております土地改良事業にも多大の御支援を賜り、心から感謝申し上げる次第でございます。

本地域は、木曾川に育まれた肥沃な穀倉地帯であり、皆様方の常日頃の農業に対する御熱意と木曾川用水施設並びに配水の適切な管理によりまして、昨年も豊穡の秋を迎えられましたことは誠に嬉しい限りでございます。

しかし、海拔0メートル地帯であります本地域は、地盤沈下と急速な都市化により、排水不良区域の拡大と湛水被害の増大をきたしており、抜本的な排水対策が重要かつ緊急な課題となっております。

このため、農地の排水改良を目的とした国営尾張西部排水事業が昭和61年に着手され、尾西排水路工事が順調に推進されているところでありますが、昨秋には、待望の日光川河口排水機場が着工の運びとなり、いよいよ工事の最盛期を迎えようとしておりますことは誠に心強い限りでございます。

県といたしましても、64年度から工事等の一部を受託して施行するなど、本事業の円滑な推進を図ることとしております。

また、関連事業であります湛水防除事業や地盤沈下対策事業等を積極的に推進するとともに、木曾川用水の円滑な管理運営に尚一層の努力を怠りません所存でございますので、皆様方におかれましても、引き続き御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、海部土地改良区の益々の御発展と皆様方の御多幸を祈念しまして、年頭の御挨拶といたします。

新年のご挨拶

海部農地開発事務所長 竹 沢 貞 夫

昭和64年の新年を迎え、組合員の皆様、明けましておめでとうございます。
 平素は土地改良事業の推進並びに諸行事につきましては、皆様方の格別の御理解と御協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

木曾川用水施設も昭和58年に本格管理に移行されてから、早くも6年になりますが、皆様方の善良な管理によりまして、所期の目的が十分果たされておりますことは、誠に喜ばしいことであり、深く敬意を表す次第であります。

近年の農業をめぐる情勢は、消費の伸び悩みや価格の低迷、また諸外国からの市場開放要求など内外共に一段と厳しさを増し、重大な転換期にあります。本地域の農業生産の一層の向上と農地の保全を図るため、抜本的排水対策としての国営尾張西部地区排水事業も順調に推進されており、今年はいよいよ日光川河口排水機場の本体工事に着工する運びになりまして、皆様と共に一日も早い完成を乞い願うものであります。

この事業が完成しますと、当地域の湛水被害は軽減され木曾川用水事業の効用とも相俟って農業生産の安定向上が図られ、農業経営の安定化に大きく寄与するものと期待しております。

私共海部農地開発事務所としましては、本事業並びに関連事業であります湛水防除事業や地盤沈下対策事業の促進にさらに努力を怠りません所存でありますので、今後とも皆様の倍旧のご指導ご協力をお願い申し上げます。

最後に、海部土地改良区の益々のご発展と理事長様始め皆様方のご活躍とご多幸をご祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。

新年のごあいさつ

水資源開発公団 金子 正 人
木曾川用水総合管理所長

新年明けましておめでとうございます。
 謹んで組合員の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

昨年10月1日付けで木曾川用水総合管理所長に就任いたしました。初めての新年を迎えることになりました。

木曾川用水の管理業務は、本年で6年目を迎えることになりましたが、順調に所期の目的が果たされていることは、吉川理事長をはじめ、組合員の皆様のご指導とご協力の賜ものと心から感謝している次第でございます。

ご案内のとおり昨年は降水量に恵まれ、当木曾川用水地域の水不足の心配はありませんでしたが、近年の生活水準の向上、生産活動の拡大等により水需要に対し、供給が追いつかず、また、最近では、小雨傾向等により水需要の逼迫してきた地域を中心に漏水が発生しており、国民生活及び経済社会活動に影響を与えており、61・62年の東海地方の漏水は記憶に新しいところであります。

水を利用した豊かで潤いのある快適で、健康的な生活への国民志向は一層強まるものと思われましますので、安定的水需要体制の確保を前提に水の持つ多面的価値を再認識し、これまで以上の水の活用、水の協調を図りつつ漏水のない豊かな潤いのある新しい水活用社会を形成していく必要があると思われまします。

こうした情勢の中で、農業用水の持つ役割は、今後ますます重要性を増すものと考えられ、私共、職員一同一層の努力を致す覚悟でございますので、皆様方のご指導、ご鞭撻をお願いするとともに、海部土地改良区の一層のご発展を祈念いたしまして、年頭のごあいさつといたします。

海部土地改良区設立20周年記念式典

日時 昭和63年9月3日(土)
場所 佐屋町中央公民館ホール



理事長表彰授与

◎海部土地改良区設立20周年記念表彰◎

- 1. 愛知県知事表彰受賞者(敬称略)
加藤 新松
- 2. 海部土地改良区理事長表彰受賞者(敬称略)
(理事、監事、総代) 32名

山森 謙一	宮田 庄一	五島 利夫	服部 金蔵
石黒 義男	山田 清敏	佐藤 武春	鈴木 泰男
津坂 信雄	遠松 梅治	服部 政雄	半田 和一
平野 繁茂	笥 正亥	伊藤 博	山岸 信春
日永 信弘	大野 秀松	加藤 重秋	太田 俊男
服部 庸夫	伊藤 正信	浅野 東一	阿部 親衛
伊藤 清蔵	佐藤 實二	伊藤 照雄	立松 秋則
堀田 秀丸	若松 順一	木下 正	飯田 清
(配水管理区長、班長) 26名			
大崎 時光	森 清	吉川 春雄	日比二三男
吉川 寿治	原田 秀吉	伊藤 薫	伊藤 白
神田 一吉	堀田 惣吉	伊藤 正男	稲垣 文彦
水谷 巖	祖父江淳一	若山 富雄	加藤 保
神田 新一	伊藤 正義	堀田 亨	堀田 重松
鈴木 鈴義	佐藤 守	加藤 末光	伊藤 実
加藤 兼康	渡辺 正行		

祝 辞

海部土地改良区設立20周年を、心からお喜び申し上げます。ご列席の皆様方には、平素から愛知県政発展のために多大のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。顧みますと、この20年間にさまざまな社会変化がございましたが、ご当地においては、木曾川用水の完成がまず第1に思い出されるのでございます。海部土地改良区は、木曾川用水事業が本格着工される1年前の昭和43年に設立され、以来理事長を努めておられる吉川先生を始め、役員、組合員の皆様方の並々なご尽力によりまして、様々な難題を克服され、県下でも有数な木曾川用水が昭和58年に完成を見たのでございます。

現在では、海部土地改良区と水資源開発公団が一体となって木曾川用水の施設並びに水管理に日夜ご努力を頂き、農業用水はもとより、都市用水の安定供給が図られており、皆様方のご苦労に対しまして心から敬意を表する次第でございます。これまでの、数々の輝かしいご功績により海部土地改良区におかれましては、全国の優良土地改良区として、昨年3月に全国土地改良事業団体連合会から銀章受賞の栄に浴されたところでございます。また、幅広いご見識と卓越した指導力を発揮しておられる吉川理事長さんが農林水産政務次官の要職にあつて、益々ご活躍をされていますことは愛知県にとりまして、誠に心強い限りでございます。従来からご当地は、県下でも有数な穀倉地帯であり、2年連続の生産者米価の引き下げは、皆様方にとって相当大きな衝撃であったと考えております。これからの農業は、省力化等により生産コストを下げるのが肝要であり、県といいたしましても積極的に農政に取り組んでまいり所存でございますので、皆様方におかれましても、尚一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。次第でございます。最後に臨みまして、海部土地改良区の益々のご発展と、本日ご列席の皆様方のご健勝を祈念いたしまして、祝辞とさせていただきます。

昭和63年9月3日

愛知県知事 鈴木礼治

今日は、大変おめでとうございます。私が参議院で一番親しくお付き合いを頂く、吉川政務次官が理事長をされておられる海部土地改良区が、20年を迎えたということで、何を先に置いても御祝いを申し上げにまいりました。

この地域は、木曾川という大河川の一番下流であり、皆様方のご先祖もこの水との戦いを永年やってこられた事と申します。更に愛知県が、戦後すさまじいばかりの発展をとげられたその源動力の大きな一つの要因は、この海部地帯の発展が起因していると思うわけでございます。この様な非常に都市化の進んだ地域において、用水、排水の問題で苦勞を続けてこられたことと思ひます。特に用水につきましては、伊勢湾台風を契機にしまして、木曾川用水事業が発足し、ここにめでたく20年を迎えた訳ですが、なせ下流の沖積地帯でございますので、地盤沈下も起つてまいりまして現在国営尾張西部事業で吉川政務次官も大変ご苦勞されておられます。私もかつて農林省に居りました時に湛水防除事業の制度を初めて作ったわけですが、これは海部地域が最初でございます。20年来ずっと排水事業も合わせて実施され、水と戦い、水と苦勞を伴にされた皆様方に深く敬意を表したいと思ひます。今後まだまだ事業が進んで行くと思ひますが、この地域はどんどん都市化が進み、周辺の環境整備も必要になってまいりまして、農業も都市化に合わせて行なわれなければなりません。まだまだ仕事が続くと思ひますが、頑張って頂きたいと思ひます。先程表彰を受けられた皆様方には、本当に長い間ご苦勞様でした。これからも精進されまして、後輩の指導に当たって頂きたいと思ひます。最後にこういう席で大変恐縮でございますが、吉川政務次官は、来年選挙を迎えられる訳でございます。農政はもろんのこと、参議院の運営等の重職についていただかなければならぬ先生でございます。皆様方の代表として再度参議院に選出して頂き、ご活躍いただく事が私共の願ひでございます。

これを合わせて、御祝いの言葉とさせていただきます。

昭和63年9月3日

参議院議員 梶木又三

本日、ここに海部土地改良区設立20周年の式典が挙行されるにあたり、一言お祝いの言葉を申し上げます。海部土地改良区は、昭和43年5月津島市他5町4ヶ村の水田に対する用水補給を行うため、水資源開発公団による木曾川用水事業の本格着工に当り、その推進母体として設立されました。

爾来、今日に至るまで事業に関連する用水路の整備を完了されるとともに、これらの事業によって造成された土地改良施設の良好な維持管理を通じて、地域の発展に大きく貢献されてきた所であります。この長年にわたる海部土地改良区の地域農業の発展及び地域振興への多大な貢献に対し、全国の優良土地改良区として昨年3月に全国土地改良事業団体連合会から栄ある銀賞を受賞され、本年設立20周年を向かえられたのであります。関係各位の御尽力、功績に深甚なる敬意を表するものであります。ご承知のように一昨年来の急速な円高等によりまして、米を中心とした農産物価格の内外格差の拡大、諸外国からの一層の市場解放の要求等内外における農業、農政につきましても関心が高まっております。

これらの諸課題を解決し、生産性の高い農業を実現することによりまして、農業、農政に対し、広く国民各層からの理解と支援を得ていくことが必要となっております。なかでも土地改良事業は、この課題解決のための基礎的条件を整備するものであり、農林水産省といたしましても、厳しい財政事情の下ではあります、積極的に事業の推進と拡大に努め、皆様方と共に農業生産基盤の整備に取り組んでまいり所存であります。申し上げますまでもなく、この地域は土地改良事業が実施されたことにより、水不足が解消され、同時に水管理の合理化が図られ、計画的・安定的な用水の供給が行われるようになったところであり、またこのことが契機となって、今や県下有数の先進農業地帯として注目されていることは誠に喜びに耐えられません。本日の土地改良区設立20周年記念に当り改めて、先人の御苦勞に思いを致すところでございます。今後とも海部土地改良区が地域農業、ひいては地域全体の発展のための中核的組織として、さらに飛躍と発展を遂げられんことを心から期待申し上げますと共に、皆様方の一層の御尽力、御活躍をお願い申し上げます。私の祝辞といたします。

昭和63年9月3日

農林水産省構造改善局建設部長 谷山重孝

本日、海部土地改良区設立20周年記念式典の開催にあたり水資源開発公団を代表して一言ご祝辞を申し上げます。海部地方は、古来から母なる木曾川の豊かな清流と、それによってもたらされた肥沃な土砂によってわが国の代表的な穀倉地帯として発展して参りましたが、近年に至り、中部経済圏の飛躍的發展に伴い水需要の増大が急速に進み、水資源を高度に開発し総合的に調整利用する必要が生じてきました。このような情勢に対応するため、昭和43年5月に海部土地改良区が設立され、木曾川用水事業の推進が図られたわけでございます。この事業は、水資源開発公団が事業主体となり、木曾川水系における総合的な水資源開発事業の一環として、岩屋ダムと相まって、岐阜県美濃加茂市を中心とした上流部と、愛知県、三重県にまたがる下流部の約13,000ヘクタールの農地に対する農業用水の合理的な供給を図るとともに、濃尾第二地区約8,000ヘクタールの排水改良を行い、更に中部経済圏の都市用水にも応えんとする壮大な規模のものであります。昭和58年には、この事業も無事完了し、現在良質の水を安定的に供給できるようになりました。これまでの海部土地改良区組合員各位のご精進とご尽力に対し、深く敬意と感謝の意を表するとともに、設立20周年を迎えられたことを心からお祝いを申し上げます。

今この20年を顧みますと、わが国の社会経済の大きな転換期にあたり、オイルショックによる高度経済成長から低成長への移行、減反政策、農産物の自由化等農業をとりまく諸情勢は誠に厳しいものがありますが、海部土地改良区におかれましては、吉川理事長の農林水産政務次官ご就任という慶事を筆頭に全国土地改良功労者の団体表彰で銅章、銀章を受賞されるなど着々と功績をあげられていることは誠に同慶にたえません。

木曾川用水事業が緒々の困難を克服して早期完成し、その成果をあげているのも、ひとえに吉川理事長の卓越した指導力と巾広いご見識に負うところ大で、公団といたしましても心から感謝している次第です。私共は今後とも木曾川用水施設の安全かつ適切な維持管理をはかり所期の効用を全うすることができますよう万全を期する所存でありますので皆様方のご協力とご支援を切にお願い申し上げます。

最後に本日のご盛會をお慶び申し上げますとともにご参集の皆様のご健勝と海部土地改良区の今後益々のご発展をお祈りいたしまして、お祝いの詞とさせていただきます。

昭和63年9月3日

水資源開発公団理事中部支社長 平井公雄



(上：祝 辞 参 議 院 議 員 梶木又三)
(中：表 彰 受 賞 者 一 同)
(下：万歳三唱 愛知県農地林務部長 白浜 明)

海部土地改良区20年の歩み

年 次	事 項
昭和43年(1968) 5月17日	・海部土地改良区設立認可
7月29日	・設立総代会(第1回通常総代会)
昭和44年(1969) 7月1日	・国営木曾川総合下流土地改良事業計画確定
12月23日	・木曾川総合用水事業実施計画認可
12月25日	・国営木曾川総合下流土地改良事業が水資源開発公団に継承される
昭和46年(1971) 7月31日	・海部津島土地改良会館竣工(海部土地改良区事務所)
10月29日	・木曾川用水関連土地改良事業着手(以後各工区毎に実施)
昭和51年(1976) 7月10日	・海部土地改良区広報発行(第1号)
昭和52年(1977) 1月10日	・佐屋川用水土地改良区解散
1月19日	・第1回排水調整委員会(現・用水調整委員会)開催
8月1日	・配水計画の決定
昭和54年(1979) 3月4日	・木曾川大堰からの取水開始(暫定)
昭和56年(1981) 11月12日	・海部土地改良区設立10周年記念式典の挙行
・木曾川用水事業竣工式(水資源開発公団)	
昭和57年(1982) 3月18日	・土地改良功労者表彰 団体銅章受賞
・木曾川総合用水事業(木曾川用水関係)の事業実施計画の変更認可	
昭和58年(1983) 1月25日	・佐屋川東部用水土地改良区の解散(財産の継承)
3月31日	・木曾川用水事業完了
4月1日	・木曾川用水施設の管理開始
・木曾川用水施設のうち農業専用施設の管理に関する委託協定の締結	
昭和59年(1984) 1月28日	・木曾川用水事業、関連土地改良事業完工記念碑建立式典の挙行
3月31日	・木曾川用水関連土地改良事業完了
昭和61年(1986) 5月14日	・土地改良事業(維持管理)計画書の変更認可申請
昭和62年(1987) 3月24日	・土地改良功労者表彰団体銀章受賞
昭和63年(1988) 9月3日	・海部土地改良区設立20周年記念式典の挙行

昭和63年度臨時総代会 (63. 6. 25)

(1)役員総選挙について

昭和63年6月25日午前10時30分から、海部津島土地改良会館3階会議室において開催された総代会において役員任期満了(昭和63年7月2日)に伴う選挙を行い、次のみなさんが当選され、就任されました。また理事長には吉川理事長が互選されました。

役員名簿

任期 自S63.7.3~至S67.7.2

Table with 12 columns: 被選挙区, 理事別, 氏名, 被選挙区, 理事別, 氏名, 被選挙区, 理事別, 氏名, 被選挙区, 理事別, 氏名. Lists board members for various districts.

参与名簿

Table with 6 columns: 職名, 氏名, 住所(市役所・役場), 職名, 氏名, 住所(市役所・役場). Lists participants from various municipalities.

用水調整委員会委員名簿

用水調整委員会の各委員の任期満了に伴い、次のみなさんが選任されました。

Table with 7 columns: 市町村名, 氏名, 住所, 電話番号, 市町村名, 氏名, 住所, 電話番号. Lists water adjustment committee members.

(2)『緊急動議』吉川博理事長を推薦

本年7月施行予定の第15回参議院議員選挙における愛知県選挙区選出候補者として吉川博理事長が、比例代表選出議員候補者として須藤良太郎全国土地改良事業団体連合会顧問が、昭和63年6月25日開催の臨時総代会において満場一致で推薦された。

総代名簿

総代の任期満了(昭和63年6月20日)に伴う総代会総代選挙(昭和63年6月13日執行)の結果、新総代のみなさんが就任されました。

海部土地改良区総代名簿

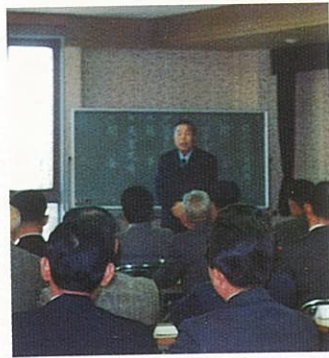
自S63.6.21~至S67.6.20

Large table with 10 columns: 選挙区, 住 所, 氏 名, 電話番号, 選挙区, 住 所, 氏 名, 電話番号. Lists representatives for various districts.

昭和63年度臨時総代会 (63. 11. 26)

昭和63年11月26日午前10時30分から海部津島土地改良会館3階会議室において開催された総代会において、次の第12号議案から第22号議案まで原案どおり可決決定されました。

- 第12号議案 昭和62年度一般会計収支決算書並びに事業経過報告承認について
- 第13号 " 昭和62年度決済金積立金特別会計収支決算書承認について
- 第14号 " 昭和62年度木曾川用水関連土地改良事業特別会計収支決算書承認について
- 第15号 " 昭和62年度職員退職給与積立金特別会計収支決算書承認について
- 第16号 " 昭和62年度財産目録の承認について
- 第17号 " 海部土地改良区他目的使用並びに使用料徴収規程の一部改正について
- 第18号 " 海部土地改良区基金設置規程の一部改正について
- 第19号 " 昭和63年度一般会計収支補正予算について
- 第20号 " 昭和63年度決済金積立金特別会計収支補正予算について
- 第21号 " 昭和63年度維持管理基金特別会計収支補正予算について



▼昭和62年度決算 (昭和63年11月26日承認)

(単位：円)

収 入		支 出		摘 要
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額	
組 合 費	120,268,928	事 務 所 費	86,064,293	収支差引残高 43,017,515円 (翌63年度へ繰越)
補 助 金	7,599,000	事 業 推 進 費	8,334,840	
使 用 料	147,927	事 業 費	18,543,116	
県 負 担 金	105,800,901	維 持 管 理 費	30,105,616	
交 付 金	5,400,000	償 還 金	274,957,339	
寄 附 金	760	負 担 金	164,864,289	
繰 入 金	38,490,000	拠 出 金	3,480,000	
借 入 金	8,868,400	繰 出 金	2,600,000	
雑 収 入	5,257,293	還 付 金	39,790	
繰 越 金	40,173,589			
合 計	632,006,798	合 計	588,989,283	

(単位：円)

収 入		支 出		摘 要
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額	
決 済 金	25,396,463	還 付 金	50,168	収支差引残高 11,625,343円 (翌63年度へ繰越)
繰 入 金	5,599,000	積 立 金	20,200,000	
雑 収 入	31,408,384	繰 出 金	24,490,000	
繰 越 金	2,830,064	貸 付 金	8,868,400	
合 計	65,233,911	合 計	53,608,568	

職員退職給与積立金特別会計 (単位：円)

収 入		支 出		摘 要
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額	
繰 入 金	2,600,000	退 職 給 与 金	0	収支差引残高 24,172,219円 (翌63年度へ繰越)
雑 収 入	959,759			
繰 越 金	20,612,460			
合 計	24,172,219	合 計	0	

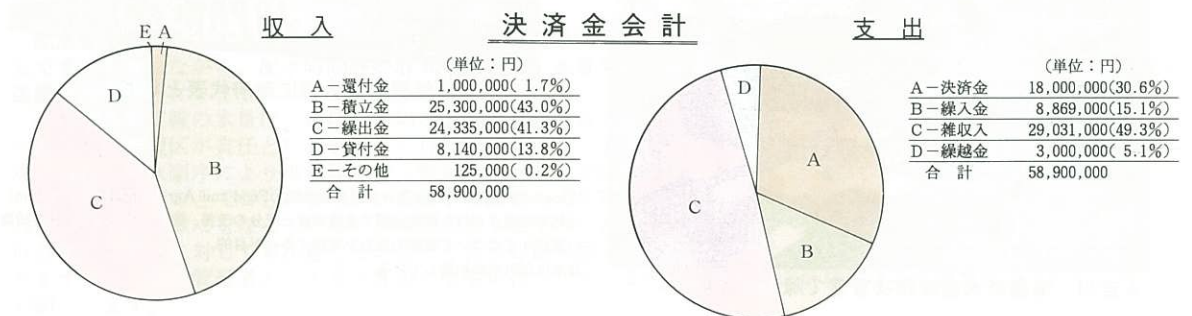
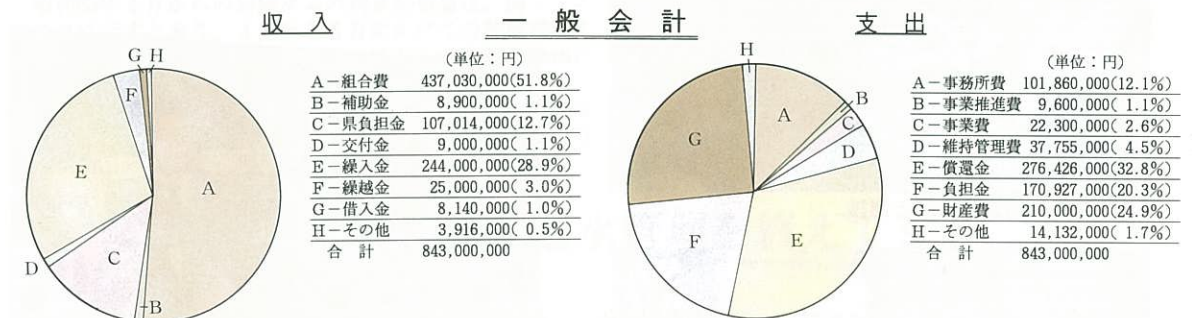
木曾川用水事業償還金積立金特別会計 (単位：円)

収 入		支 出		摘 要
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額	
雑 収 入	19,801,793	積 立 金	422,723,292	(翌63年度へ積立繰越)
繰 越 金	402,921,499			
合 計	422,723,292	合 計	422,723,292	

維持管理基金特別会計 (単位：円)

収 入		支 出		摘 要
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額	
雑 収 入	15,053,316	積 立 金	350,760,855	(翌63年度へ積立繰越)
繰 越 金	335,707,539			
合 計	350,760,855	合 計	350,760,855	

▼昭和63年度予算 (昭和63年3月12日 通常総代会にて可決)



わが郷土・海部の限りなき発展を!!

《吉川 博 農林水産政務次官の1年》



▲竹下総理から信頼の堅い握手。

吉川 博理事長は、昭和62年11月10日に農林水産政務次官に就任されて以来、海部土地改良区理事長の職務を遂行されながら、同時に国政の要職に携わり、国民のために尽力されております。

組合員として、誇りであります。



▲参議院「土地問題特別委員会」で答弁する吉川 博農林水産政務次官。



▲佐藤隆農林水産大臣と懇談。



▲FAO世界食糧会議に政府代表として。

【memo】FAO（国際連合食糧農業機関・Food and Agricultural Organization）1945年に設立された国際機関で食糧増産と配分の改善、農民生活の向上、農業技術の援助などについて国際的協力を実現するのが目的。日本は1951年に加盟している。



▲吉川 博農林水産政務次官室で陳情をうける。

昭和63年度の木曾川用水管理業務について

◆ 水資源開発公団木曾川用水総合管理所

1. 管理概要

昭和63年度における木曾川用水管理業務予算は、1,198百万円で、その内訳は、白川取水施設118百万円、木曾川大堰施設264百万円、下流共用施設等236百万円、三重県都市用水580百万円となっており、それぞれ施設補修、ゲート類整備、大堰ゲート及び幹線水路調節堰ゲートの塗装、観測設備、通信設備の整備等を行っている。

木曾川用水は、暫定通水開始以来12年目を迎え、施設の老朽化も進んでおり通信、観測機器等部分的に更新を実施している。

水管理としては、月間降雨量が5月から9月にかけては各月とも昭和53年以降の平均を上回り、特に梅雨期の6月は462mm、7月には389mmと平均の約2倍の降雨に恵まれ、かんがい期間中の河川の流況は良好に推移し、取水は順調に行われた。

一方配水管理の面では、海部土地改良区並びに関係者各位の御指導と御協力により、事故もなく順調に行うことができた。

2. 農業用水取水状況

昭和63年の4月から9月までの愛知県濃尾第二地区農業用水の取水量は表-1に掲げるように90,993千トンで、期間中の総取水量としては、平均の約92%であった。

農業用水の取水は降雨と密接な関連を有するが、昭和63年のかんがい期の降雨量は1,803mmで過去6年間の本管理のうち一番多く、平均の約1.6倍であったことから、総取水量は59年に次いで2番目に少なく、月別では、図-1のグラフに示すとおり8月が平均の約66%であったほかは、各月ともほぼ平均的な取水傾向であった。

3. 水源状況

昭和63年4月からの岩屋ダムの利水貯留量は、図-2のグラフに示すとおり、4月から5月にかけての貯留期にやや回復が遅れたものの、6月に入ってからの多量の降雨により、6月初旬には確保貯留量6,190万トンに達した。

かんがい期間中は、7月と9月にそれぞれ約一週間程度僅かに確保貯留量を下まわったほかは、11月の初旬まで確保貯留量を維持した。

表-1 愛知県農業用水取水量及び馬飼地点降水量 (単位: 雨量mm, 取水量千t)

月	昭和61年		昭和62年		昭和63年		平均雨量 (53年~62年)	平均取水量 (58年~62年)
	雨量	取水量	雨量	取水量	雨量	取水量		
4	186	7,451	86	6,174	161	7,720	164	5,804
5	262	19,811	159	22,248	207	20,221	186	21,437
6	271	21,119	64	22,240	462	18,581	226	18,409
7	323	10,650	250	12,480	389	14,290	224	12,222
8	15	37,169	95	26,351	198	18,817	133	28,542
9	90	15,910	132	13,423	386	11,364	172	12,412
計	1,147	112,110	786	102,916	1,803	90,993	1,105	98,825

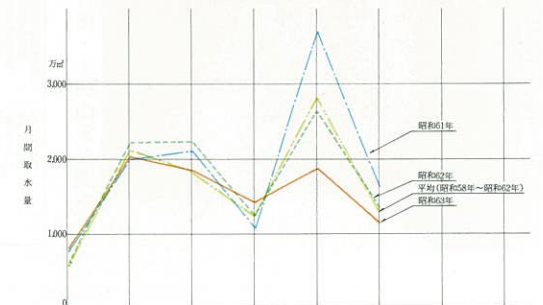


図-1 かんがい期月別取水量(愛知県分)

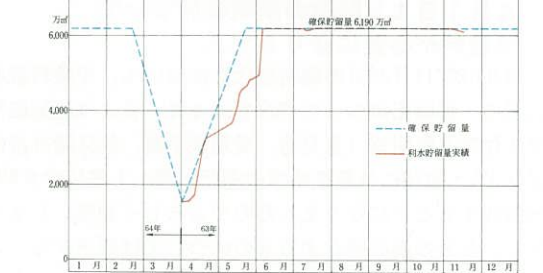


図-2 昭和63年度岩屋ダム利水貯留量

§ 昭和63年の配水管理を終えて §

◆ 海部土地改良区・管理課

昨年無事に通水を終えることができましたことは、一重に皆様方の配水に対する御理解と御協力の賜ものと心から感謝しております。

配水管理を行う上で重要な事は、組合員の皆様の要望にそって、いつでも充分な水量を配水しなければならないことです。しかしながら、配水時間外の取水等があり、水量が不足する管理区が数日ありました事については、大変ご迷惑をおかけいたしました。

それぞれの支線の水量は、皆様ご承知のように管理区長さんからの申し込みに基づき配水が行われていることから、それぞれの管理区が責任と自覚を持って行わなければなりません。取水の開始と停止については、用水調整委員会で決められた配水順序により事務局まで一報をいただきます様お願いします。

また、例年のことですが、水路中に野菜くずや除草等、さらにビニール袋に入れた生ゴミまでの投棄が行われ、配水の支障にもなっているのが現状であります。これらの処理費はすべて組合員の皆様の負担となりますので、付近住民の方々に対しても注意していただくようご協力願います。また最近、水路内での事故が多発傾向となっておりますので、施設管理者として安全施設の整備を行っておりますが、組合員の皆様およびご家族の方々にもご協力をお願いします。

最後に、本年も全ての管理区が平等に配水管理が行えますよう、ご協力の程、よろしく願います。